

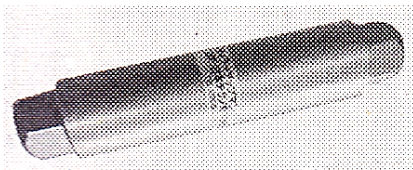
ポイラーマン 燃料の分子を磁気処理

驚きの燃費削減

サンメアー

(有)サンメアー（大阪市住吉区大領5の1の19）発売の磁気式のポイラー燃費削減装置「ポイラーアップマン」に更なる強力モデルが登場、注目を集めている。

この「ポイラーアップマン」は、日本テクノ（株）製で、ポイラーなど燃焼



高い評価のポイラーアップマン

機器の燃料系配管へ装着するだけで、燃料の燃焼効率がアップし、燃料削減効果が期待できる。ポイラーを使用するハウス農家や温泉施設では、燃料費上昇による経費の増大に悩まされているだけに、同製品の燃費削減効果が関心を呼び、導入事例が増加している。

原理は、灯油など燃料の分子集団を磁気処理によって細分化することで燃焼効率を高め、結果として燃料の削減効果が得られるというもの。

昨年から本格的な取り

扱いを開始した全農長野県本部生産資材課では、資材情報で飯田市の農家がダリア栽培ハウスに導入し、大きな燃料削減効果をあげた事例を紹介している。

期間は平成23年12月22日～24年3月15日の「84日間」で、未設置ハウスの燃料消費量が1846㍉×90円＝16万6140円であったのに対し、ポイラーアップマン設置ハウスは1520㍉×90円＝13万6800円となり、実に5㍉で改善金額は2万9340円、改善

効果は「18%」となった。燃料タンク1基当たりで326㍉、10㍉当たり「652㍉」の改善。

また同資材課では同製品について「その他農業ハウス栽培―葉ネギ・イチゴ・トマト・レタス・キウリにも導入され改善の効果を上げている」と報告、高く評価。

農業分野以外でも、同製品を燃料系配管に取り付けたことで燃費改善した事例は数多く、例えば（株）信州東御市振興公社が運営する天然温泉施設

「湯菜里館」では、ポイラー2基に装着。6カ月間検証したところ、灯油使用量は導入前が18万2000㍉であったのに対し、導入後は16万7000㍉となり「8・2%」の削減をみている。

導入コストについては、他製品（エマルジョン生成装置、ナノバブル発生装置など）と比較してかなり安価であり、削減効果による償却も短期間で行えるとしている。

▽問い合わせ先 06・6692・0137